

■ 甌島圏域生ごみ等資源化実証事業業務委託 評価基準

審査項目	細事項		着眼点	配点
関連業務の実績	業務実績	事業者	(1) 事業者 過去5年間に資源循環に関する調査または実証事業に関する業務実績があるか。	5点
		担当者	(2) 担当者 配置予定者に資源循環に関する調査または実証事業に関する業務実績があるか。	5点
小計				10点
実施方針 スケジュール	業務理解度	現状と課題	(1) 現状と課題 本市及び甌島圏域の生ごみ処理の現状・課題、地域特性を的確に理解し整理しているか	20点
		方向性	(2) 生ごみ資源化の方向性 島内完結型資源循環及び事業性検証という目的を踏まえた将来展開の方向性が示されているか	
	計画性	実施体制	(1) 実施体制 分別・収集運搬・資源化・流通までを統括し、関係主体と連携できる明確な体制が構築されているか	
		業務スケジュール	(2) 業務スケジュール 実証準備から運用・検証までの工程が具体的かつ現実的で、柔軟な対応力を備えた計画か	
企画提案書の内容審査	的確性	地域資源の整理	(1) 地域資源の整理 地域資源(人材・施設・事業者等)を具体的に把握し、活用可能性を踏まえ整理されているか	50点
		協力体制の構築	(2) 協力体制の構築 実証を行う上で必要な民間事業者との協力体制の構築について、具体的かつ実現可能な内容の提案となっているか。	
		運用設計(分別・収集・資源化・流通)	(1) 運用設計(分別・収集・資源化・流通) 全工程が一体的に設計され、住民負担・効率性・衛生面に配慮した運用となっているか	
		事業性の検証手法	(1) 事業性の検証手法 コスト、収益、処理量等の指標に基づき、事業性を定量的かつ合理的に検証できる手法となっているか	
	実効性	マネジメント手法	(1) マネジメント手法 実証事業全体の進捗管理、関係主体との調整、課題対応が体系的に整理され、安定的かつ円滑に運営できるマネジメント手法となっているか	
		実施計画書の策定手法	(1) 実施計画書の策定手法 実証結果の整理・課題抽出、改善策検討、事業条件・スキーム整理及び将来展開を踏まえた計画書作成の手法が具体的かつ論理的に示されているか	
	独創性	(1) その他提案について 地域特性を踏まえた創意工夫や付加価値があり、持続性や収益性向上に資する提案か		
プレゼンテーション内容	説得力・コミュニケーション能力	遂行能力	(1) プレゼンテーション能力について 提案内容が論理的かつ分かりやすく説明され、質問に対する確かつ具体的に回答できているか	10点
		取組意欲	(2) 業務に対する取組み意欲について 本業務の目的を理解し、主体的に取組み関係主体と連携し実行できる意欲が示されているか	
合 計				90点
価格評価	(様式第8号 業務見積書)		価格評価点の配分(10点)×(最低提案価格÷当該提案価格) ※価格評価点は、小数点第4位(第5位は切り捨て)とする。	10点
総 合 計				100点